

# 真っ直ぐに、真っ先に—— 「一生涯のパートナー」として 安心の最高峰を、地域へ、世界へ

第一生命グループは、1902年の日本での創業以来、生命保険事業などを通じて、**お客様の安心で豊かな暮らしと地域社会の発展に貢献**してきました。創業からの「お客様第一」の価値観と弛まぬ変革の精神は、**「安心の最高峰を、地域へ、世界へ」**お届けしたいと願う私たちの理念に、今も脈々と息づいています。グローバルな事業展開を続けるこれからも、大切にしてきた理念を貫き、世界各国、各地域における**「一生涯のパートナー」として、「真っ直ぐに」「真っ先に」**挑戦を続けます。

## 理念体系



## 真っ直ぐに——創業以来の「お客様第一主義」

私たちは、創業者矢野恒太が掲げた「お客様第一主義」に基づき、「いちばん、人を考える」という想いを大切にしながら、お客様や社会の課題に向き合い、これらの課題を解決することで自らも成長していく経営を絶えず目指してきました。

こうした信念は、グループの事業展開が日本から世界各国へと広がった今も、そして今後も変わることはありません。

想いを同じくする世界中のグループ各社全員で、「安心の最高峰を、地域へ、世界へ」とお届けしたい。それが私たちの目指す姿です。



創業者 矢野 恒太

## 真っ先に——発揮し続ける「変革の精神」

第一生命グループの歴史は、お客様や社会のために絶えず変革に挑戦してきた歴史でもあります。

第一生命の日本初の相互会社としての設立は、「お客様第一」の当時の最適解を追求した果敢な挑戦でした。同様に、2010年の株式会社化やその後の持株会社体制移行も、「お客様第一」を貫くために、時代に合わせて自らを変革してきた証です。

2007年からは、お客様ニーズの多様化を先取りした国内マルチブランド展開を開始、さらに日本の生命保険会社としていち早く海外事業への展開を図るなど、変革への飽くなき挑戦は今も続いています。



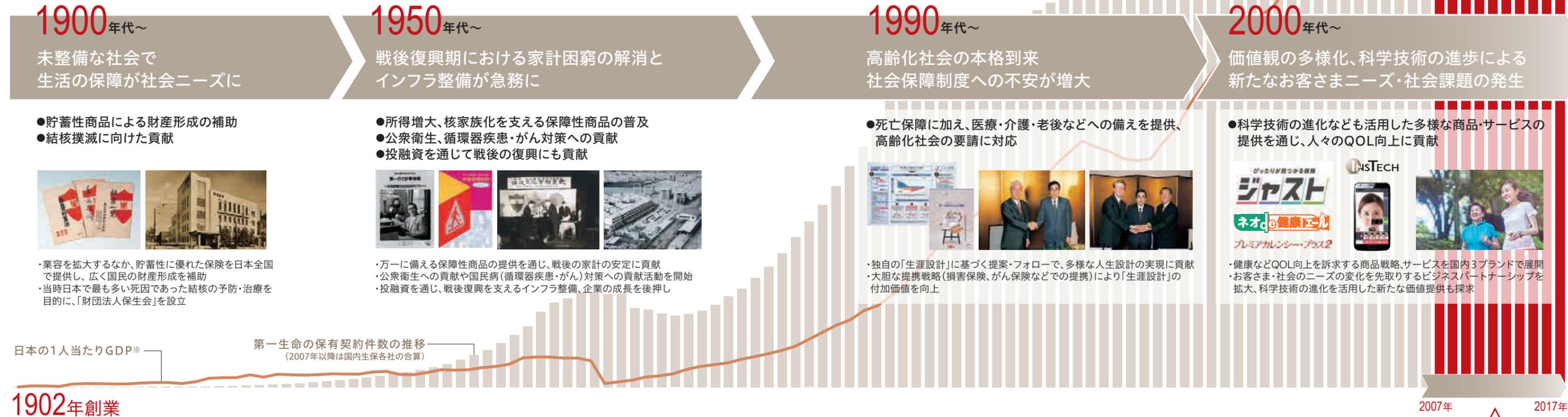
創業当時の役員



株式会社化・上場時セレモニー (2010年)

# 1902年の創業以来、 「お客さま第一」を貫くことで 社会課題の解決に貢献してきました

第一生命グループの歴史は、生命保険事業などを通じた社会課題解決への貢献の歴史です。創業以来、日本の発展のために乗り越えなければならなかった各時代の社会課題を解決し、人々の生活に安心を提供することで、日本の発展とともに歩みながら、成長してきました。これからは、ここ10年で大きく拡大してきた国内外の事業基盤を活かし、さらなる強みを発揮していくことで、世界中の新たな社会課題の解決に挑戦していきます。



直近10年間の第一生命グループの変革

国内マルチブランド化、海外生命保険・アセットマネジメント事業への積極展開などにより、ビジネスウイングを大きく拡大

	2007年	2008年	2010年	2011年	2012年	2013年	2015年	2016年	2017年
組織体制	グローバルな事業展開を支えるガバナンスを整備		株式会社として新創業				地域統括会社(ニューヨーク・シンガポール)設置	持株会社体制への移行	
国内生命保険事業	さまざまなお客さまニーズに機動的に対応する国内3生保体制を確立	第一フロンティア生命開業 いつでもあなたに、とっておきを。 第一フロンティア生命 第一生命グループ					ネオファースト生命開業 「あつらいいね」をいちはん。 ネオファースト生命 第一生命グループ		
海外生命保険事業	成長市場と安定市場でバランスのとれた事業ポートフォリオを構築	ベトナム 第一生命ベトナム子会社化 インド スター・ユニオン・第一ライフ設立	タイ オーシャンライフへ出資 オーストラリア Tower Australia Group Limited (現TALグループ)へ出資	オーストラリア Tower Australia Group Limited 子会社化 TAL		インドネシア Panin Life (現パニン・第一ライフ)へ出資 PaninDai-ichiLife By your side, for life	米国 プロテクトティブ子会社化 Protective		
資産運用・アセットマネジメント事業	日・米・欧の3大市場をカバーするグローバル3極体制を実現				Janus Capital Group Inc.へ出資 JANUS CAPITAL Group			アセットマネジメント One発足 Asset Management One	Janus Henderson Group Plc発足 Janus Henderson GROUP PLC

※Maddison Project Database, version 2018. Bolt, Jutta, Robert Inklaar, Herman de Jong and Jan Luiten van Zanden (2018), "Rebasing 'Maddison': new income comparisons and the shape of long-run economic development" Maddison Project Working Paper, nr. 10, available for download at www.ggdc.net/maddison. Please refer to www.ggdc.net/maddison for documentation and explanation of the data series

# 国内外で確固たる事業基盤を構築しています



## 3つの成長エンジン

強固な財務基盤、人財・ノウハウ、ブランド力などに支えられた国内外の事業基盤

### 国内生命保険事業

顧客ニーズの多様化に対応した国内3ブランド体制



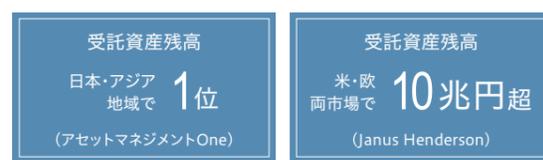
### 海外生命保険事業

成長性・安定性のバランスのとれた6カ国での事業展開

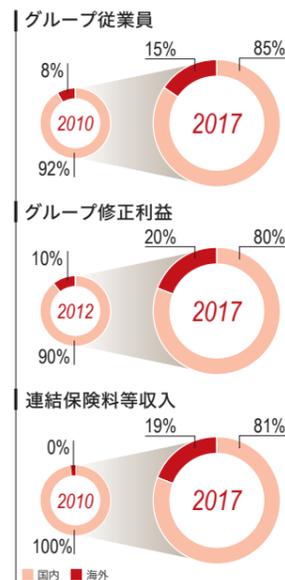


### 資産運用・アセットマネジメント事業

国内外2社による日・米・欧の3大市場への展開



## グローバルな事業分散は格段に進展



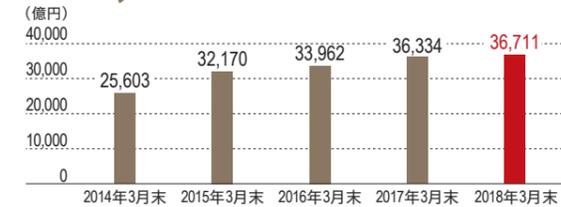
## 財務基盤等

成長の成果と成長を支える十分かつ健全な財務基盤

### トップライン指標

保有契約年換算保険料

3兆6,711億円



### 企業価値指標

グループEEV(European Embedded Value)

6兆941億円



### 健全性指標

経済価値ベースの資本充足率 **170%**  
 連結ソルベンシー・マージン比率 **838.3%**

### 資本効率指標

RoEV(上場来平均) **11.5%**

### 利益指標

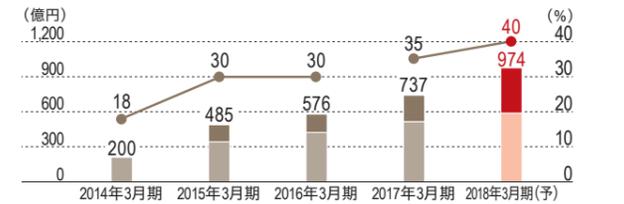
親会社株主に帰属する当期純利益/グループ修正利益※1

3,639億円



株主還元総額※2/総還元性向※3

974億円



### 格付情報※4

格付投資情報センター(R&I) **A+** 保険金支払能力  
 日本格付研究所(JCR) **A+** 保険金支払能力格付  
 スタンダード・アンド・プアーズ(S&P) **A+** 保険財務力格付  
 フィッチ・レーティングス(Fitch) **A+** 保険会社財務格付

※1 株主還元の原資となる当社独自の指標。詳細は77ページを参照ください。  
 ※2 2018年3月期の974億円には、2018年5月15日に取締役会において決議した自己株式取得の上限金額390億円が含まれています。  
 ※3 2016年3月期までは連結修正純利益、2017年3月期以降はグループ修正利益に対する総還元性向。  
 ※4 第一生命の格付(2018年7月末時点)。格付は、格付会社の意見であり、保険金支払いなどについて格付会社が保証を行うものではありません。また、格付会社の判断により、将来的には変化することがあります。

## 人財・ノウハウ

変革と成長を支える多様な人財、高度な専門性と蓄積された経験

グループ従業員 **7カ国 約7万名**  
 グローバル人財交流施策の参加者 **約2,100名(直近5年間累計)**

MDRT※会員 **国内189名 海外257名**  
※1927年に発足した Million Dollar Round Table (MDRT) は世界71の国と地域の500社以上で活躍する、66,000名以上の会員を有する、卓越した生命保険と金融サービスの専門家による国際的かつ独立した組織です。MDRT会員は卓越した商品知識をもち、厳しい倫理基準を満たし、優れた顧客サービスを提供しています。また、生命保険と金融サービス業界の最高水準として世界中で認知されています。

イノベーションを生む高度なオペレーション・ITノウハウ

## ブランド力

一世紀を超える長い歴史のなかで築いた高いブランド力



国内外のお客さまとの多様なリレーション

